



めはきもち で、おこさあご!!!

なんのことだろう?と思われた方も多いかと思えます。「め…目を見て、は…はっきり、き…気持ちを込めて」、「おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう、ごめんなさいを言う」というものです。裏面にてお伝えしていますが、教職員意見交換会での三園・校共通の課題の一つとして、「あいさつができない」が挙げられていました。低学年は高学年を見ていて、高学年は中学生を見ていて、中学生は…教職員の姿を見ているんだなあという話し合いがありました。何より影響が大きいのがご家庭です。こども園、学校でも重点を置いて、声掛けに努めますので、檜葉の子どもたち全員がすてきなあいさつができるように、ぜひ一緒に取り組んでいきましょう!!!



先に挨拶したら3ポイント!!!など、ゲーム性を取り入れている学校もあります。

今月のミニ講座 相双教育アピール①

地域と学校の強固なパートナーシップの実現

檜葉町のある相双地域の教育事務所では、「地域と共にある学校」を重点の一つとしています。地域と学校の関係は、①学校支援ボランティア→②学校支援地域本部→③地域学校協働本部というように、地域が学校を一方的に「支援」する形ではなく、お互いがwin-winとなる協働関係づくりの段階に入ってきています!!! 特に檜葉町は、これまでも県のモデル地区の一つとして指定を受けており、昨年度は小学校の「檜葉メダカ・道の駅ならは」の実践が県の最優秀の事例として、紹介されました。そして今年度は、早くもこども園が地域の伝統である檜葉天神太鼓に挑戦することが決まりました!!! 地域のうしお会の皆さんの協力を得ながら、継続的に取り組む予定です。地域にとっても「子どもたちと関わってうれしい」との声が挙がっています。まさにwin-winの協働関係になりそうです!



小学生が地域と協働して作成した道の駅の案内板

学校運営協議会のスタートに向けて!!!

「学校運営協議会」とは、学校の運営に参画するための、地域住民や保護者、関係団体、学校関係者などで構成される協議会のことです。PTA との大きな違いは、地域住民が加わっていることや具体的な内容を定期的に協議すること。福島県はまだ1割程度の学校にしかなく、遅れています。檜葉では今年度中に準備委員会を立ち上げ、次年度、本格的にスタートします! 他県では地域活動の導入、土曜や放課後の過ごし方、通学路の安全対策など、様々な内容が協議されています。ますます幼児教育・学校教育が充実するといいなと思えます。

小・中学校が相双地域のキャリア教育推進校に!!!

今年度、榑葉中学校のこれまでのNalysなどの実践をもとに、一層のキャリア教育を推進してほしいとの県の要望等から、推進校に指定されることとなりました!そこで、町としてもキャリア教育の充実に取り組んでいきます。一昔前は、「キャリア教育＝職業体験・進路指導」ととらえがちでしたが、現在はより広く考えられ、「勤労観や職業観を育てる教育」として、コミュニケーション能力や情報収集能力、計画実行能力、課題解決能力など、多くの能力が育成の目標となっています。ですので、幼児教育でも家庭教育でも取り組めるもの。例えば、「自分の役割について考え、できることを担っている」という姿勢を育てる」では、ご家庭での「おふろ当番」「ゴミ出し当番」などの役割も有効です。その際、大切なのは「ほめる」のではなく、「感謝」という視点で声をかけること。「ありがとう」「助かったよ」という保護者の方の声掛けが、「自分は役に立っているんだ」という有用感につながり、働くことの意味の理解につながります。12年間を通したキャリア形成を目指していきたいですね。



中学校模擬会社 Nalys の商品



昨年度のなら SUN フェス

教職員連携の現場から!!!

今年度からの新たな取り組みとして、こども園、小学校、中学校、そして教育委員会の教職員が榑葉の教育の充実のために意見交換をする会を隔月で開催することにし、12日に第一回目が開かれました。45分という限られた時間でしたが、36名で熱い話し合いがなされました。「偏食をどのようになくすか?」「体力を高めるにはどうしたらよいか?」といった内容から、「傘のさし方がわからない子が少なくない」など、日々の悩みまで。異校種で話すことで、どの年齢でどこまでできるのか確かめたり、どんな指導をしているのか、聞くことで参考にしたりする姿が見られました。意見交換会を通じて、教職員個人の横のつながりも強めていきたいと思えます。



Q&A

Q: こども園や小中学校によって、安心・安全メールが届く・届かないの違いがあるのはなぜですか? 他園・他校に兄弟・姉妹がいない場合もあるので、大切な内容は一斉に流してほしいです。

A: 安心・安全メールは、各園・各校の判断による使用を想定しています。今後も同様の運用を基本として考えていますが、コロナ対応など、三園・校に共通してお知らせした方がよい内容については、違いが生じないように、今後は一斉にお伝えするように委員会で改善していきます!

【編集後記】

第1号をご覧になられた保護者の皆さんから、早速、「どうしても自分が受けた教育のイメージしかないけど、今の教育が分かった」「自分の子どもの学校以外のことが知れてよかった」といった様々なご意見・ご感想をいただきました!ありがとうございます。Q&Aのアイデアもお寄せいただいた意見です。教育行政は関心が高いものの、意外とわからない分野だと思います。今後も榑葉の教育のことをタイムリーにお伝えしたいと思います。ご意見・ご感想、お待ちしております。(文責: 榑葉町教育委員会 猿渡 智衛)